

みなさんの 質問に対し 正確な情報をお伝えします!!

Q 新庁舎の建設がなぜ必要なの？

A まず第一に、災害に強い対策の拠点を緊急に整備しなければならぬからです。さらに、市民のためのワンストップサービスの実現、中心市街地の活性化など、新庁舎建設にはさまざまなメリットがあるためです。

Q 建設場所、建設費は決まったの？

A 耐震化するだけでなく、東日本大震災の経験を生かした防災機能の整備、庁舎が7箇所に分散している問題の解消、老朽化した設備・配管の改善などによる維持経費の節減、バリアフリーへの対応などが新築により実現できます。

A 今後、最終的に市議会の議決で決定されます。新庁舎建設基本計画を現在策定中で、具体的な計画内容がそこで明らかになります。建設候補地は、市議会の議論を踏まえ、旧市立病院跡地に決定し

ました。また、建設費は平成23年1月の基礎調査結果で約97億円と試算されていますが、下水道庁舎を統合しない方針としたこと、無駄のない建築計画でコストを最小限とすることなどから、建設費はさらに縮減できる見込みです。

Q 新庁舎を建設しても市の財政は大丈夫なの？

A 平成23年3月に策定した第9次総合計画において、新庁舎建設を前提とした長期的な財政見通しを立てており、財政上問題はありませんが、今、新築しなければ、大きな負担を将来に先送りすることになります。

計画的に積み立ててきた施設整備のための基金も平成22年度決算見込みで約26億円あります。今後とも市全体での借入れに伴う返済と年度末の借入金残高（一般会計）を年々減らし、健全財政を維持します。

■年度末借入金残高は、10年間で183億円減少

▽平成22年度 1,089億円
▽平成32年度 906億円

Q 全ての庁舎を一つに統合するの？

A 耐震性の確保された駅南庁舎及び下水道庁舎と新しく建設される新庁舎の3庁舎体制になり、適切なリスク分散を図ります。

下水道庁舎は、現在の用途で引き続き使用します。駅南庁舎は、さざんか館内の中央保健センターを1階に移転し、健診時などにおいて駐車場や待合が大変混雑するという問題を解消します。また、現在2階にある市立中央図書館のスペースを1階にも拡張します。

Q 市民の意見はどう生かされているの？

A 平成21年度からの市議会での調査・検討の結果、市民アンケートや意見募集、地域説明会やフォーラムなどを通じて、市民のみなさんから数多くのご意見をいただきました。これらを踏まえ、市は

基本的な方針を決定してきました。市民のみなさんとともに基本計画づくりを進め、今後ともそれぞれの段階で市民合意に努めながら、市議会の議決に基づきこの事業を実施します。

Q 新庁舎を建設すると市民税や国民健康保険料、水道料金上がるの？

A 新庁舎建設により、市民税や国民健康保険料、水道料金が上がることはありません。

なお、市民税は、国の法律により標準的な税率が決められているものです。また、国民健康保険料や水道料金の料金設定は、それぞれの制度の中で、事業にかかる経費を利用者が負担することを基本として、市議会が定める条例により決められています。

Q 合併特例債を活用すると有利なの？ 東日本大震災の影響はあるの？

A 合併特例債は、借入金返済時

市民ワークショップがスタートしました！

新しい時代に対応した新庁舎づくりを進めるため、主として市民のみなさんに関わりの深い機能について自由に意見を出し合い、報告書としてまとめる、市民ワークショップがスタートしました。



以下の3グループに分かれ、9月の報告書取りまとめに向けて、活発な議論が進められています。

市民機能グループ

多目的スペース、開放空間、情報コーナー、展示空間（ギャラリー）、喫茶コーナーなど

ユニバーサルデザイングループ

案内サイン計画、多目的トイレ、カウンターの作り方、授乳室、休憩スペースなど

外部空間グループ

駐車場、車いす駐車場、バイク・自転車置場、バス停、休憩コーナー、屋外広告、植栽計画など

検
討
項
目

市民のみなさんとともに計画づくりを進めます！

6月～ 市民ワークショップの開催



▶併せて、新庁舎に求められる機能について市民のみなさんから意見を募集します。

10月 新庁舎建設基本計画（案）とりまとめ



▶地域説明会を開催し、市民のみなさんと意見交換を行います。
▶市民ワークショップの報告など、市民の提案を計画（案）に反映します。

11月 市民政策コメントの実施



▶新庁舎建設基本計画（案）を公表し、市民のみなさんから意見を募集します。

鳥取市新庁舎建設基本計画の決定

市民のみなさんからのご意見を募集しています！

①新庁舎に求められる機能

▶新庁舎に求められる機能について、市民のみなさんからの意見を募集します。上記のワークショップの検討項目を参考にしてください。

②新庁舎建設基本計画

▶新庁舎建設基本計画の策定に当たり、市民のみなさんからの意見を募集しています。

住所、氏名、連絡先、ご意見・ご質問の内容をご記入のうえ、郵送・ファクシミリ・電子メールのいずれかで、①については8月19日（金）までに、②については随時、下記へお願いします。

問い合わせ先 本庁舎庁舎整備局

TEL 0857-20-3012 FAX 0857-20-3040

MAIL choshaseibi@city.tottori.lg.jp

■事業費97億円（借入金約87億円を20年返済）の試算

に国から7割もの支援がある大変有利な財源で、本市の場合、これを活用できるのは平成26年度末までです。
新庁舎建設に必要な市の負担が約3分の1に大幅に縮減できるので、市民にとって大変有利であり、出雲市など合併をした他の市でも多く使われています。
なお、東日本大震災の復興財源については、国が別に確保するとされており、震災の影響で合併特例債が使えなくなるというものではありません。

居住・福祉・防災などの観点を重

新庁舎の移転新築に伴い、現本庁舎などの跡地の新たな活用により、鳥取城跡周辺地区の活性化を実現します。歴史・文化・芸術や

A 市庁舎の新築移転は、中心市街地全体の活性化の起爆剤となります。

Q 市役所が移転すると、中心市街地がさびれてしまわないの？

▽合併特例債を活用する場合
市の負担 約1.6億円/年
▽合併特例債を活用しない場合
市の負担 約5.2億円/年

展を実現していきます。

また、総合支所の周辺地区を地域生活拠点として位置付け、活性化を図ることで、全市の一体的発展を実現していきます。

A 各総合支所は、引き続き存続し、本庁との連携のもと、地域振興・市民サービス・防災の重要な拠点として、機能を果たします。

Q 庁舎の統合により、新市域にある総合支所はなくなるの？

視し、新たなにぎわいを生み出すための総合的な活性化の方針を今年中に取りまとめます。

■平成25年度 建設工事

■平成26年度末 完成（予定）

■平成24年度 新庁舎建設基本設計、実施設計
※基本計画を踏まえ、新庁舎の具体的な設計を行います。

■平成23年度

（今後の予定は左枠参照）

※新庁舎の機能や規模、概算事業費を明らかにします。

■平成22年度 新庁舎建設基本計画の策定

■平成21年度

■平成20年度

定で進めています。

A 平成26年度までに建設する予定

Q 新庁舎建設のスケジュールは？